



# 桐生 JC ニュース 2014

発行：総務委員会

## 新春特集号

新春特別企画

### 岩崎靖司理事長 桐生市長亀山豊文氏と対談



**岩崎** 明けまして、おめでとうございます。本日はよろしくお願ひいたします。

**亀山** おめでとうございます。よろしくお願ひします。

**岩崎** 理事長所信の中で、まず始めに《真のリーダー》を育成するべきだと唱えさせていただきました。亀山市長は《リーダー》としてどんなことを意識していらっしゃいますか？

**亀山** 意識しているわけではないのですが、やはり、人間は素直が一番だと考えています。「信念を持って、思ったことを行う。」そうすると、みんなが付いてきてくれると感じています。

**岩崎** あまり飾ったりしない、ということですね。

**亀山** そうですね。やはり熱意を人に伝え、素直に行うことが、人を引き付ける力になります。青年会議所でも身の丈で精一杯に活動することは誰でもできることだと思います。私が青年会議所にいたころは「若さ故に勘弁してもらえる」、「失敗が許される」、ということもありました。市長という立場では失敗できない、という思いがあります。市政を預かっている立場として、どのように桐生市を持続可能な市として発展させていくか、という課題にどう取り組むか

つも考えています。しかし、飾り立てて動いても桐生市のためにはならないと考えています。

**岩崎** 先輩方からお話をうかがう中で、「大切なのは正直であることだ」と教わりました。もう一つ、大切だと言われたのが、「気前の良さ」です。

**亀山** キレが良いってことでしょね。要するに、自分が決めたことに関してはあまりクヨクヨしないでキッパリと動いていくことです。決めたことには邁進する。お金を出すのも気前の良さでしょうけど。でも、それを今の私がやったら選挙違反になってしまうね。

一同 (笑)

**亀山** 私が理事長になったのは入会して 7 年目でしたが、その時の総務委員長が坪井良廣さん。当時は専務理事という役が無かったので、その役割も兼ねていた時代でした。それまでは議事録などの文章を手書きしていましたが、坪井総務委員長がワープロを買ってきて導入しました。

**岩崎** 亀山市長が桐生青年会議所メンバーだった当時のことを色々とお話いただきました。一点、特に気になることがありました。会員委員会は 1963 年に誕生しているのですが、亀山市長が理事長だった時だけ、「会員サービス委員会」になっていたのです。その後は再び会員委員会に戻っている。市長はどんな思いで「会員サービス委員会」としたのでしょうか？

**亀山** 私が理事長になったのは、樋口さんを中心とした年代が一生懸命に頑張っていて、その世代が終わった頃でした。世代と世代の間に溝のようなものがあって、若いメンバーたちが出たがらなくなっていました。そこで、『サービス』と銘

打って、「ご飯を良いものにしよう」とか、「家族会を楽しくやろう」といった企画をして、柔らかいイメージを持ってもらおうとしました。

**岩崎** 会員委員会の業務文章は細かい業務内容まで書いてありました。例えば、「冬の家族会はディナーショー形式」というように書かれていた。それを読んだ時も、かなり思い入れが強かったのではないかと感じました。

**亀山** 当時は疲れていた面もありました。年中、東大の偉い講師をお呼びするなど、事業のレベルが高くなってしまっていました。青年会議所は少年探偵団ではないですが、JC バッジを付けて夜の街を歩くのも楽しいと思うのです。そういう雰囲気もないと駄目だろうと考えていました。お酒とおつまみしか出ないお店で「桐生市のこれからは…」と語り明かすだけでは、足が遠のく人だって出てくるわけです。

**亀山** 新入会員は今も会員委員会に入るのですか？

**岩崎** はい。

**亀山** それで下働きを覚えながら慣れていくわけですよ。最近の会員委員会は何を担当しているのですか？四五行事かな？

**岩崎** そうです。互例会と家族会が二つ、そして、あと一つはメンバーだけの交流をする予定です。亀山市長の頃はどうだったのですか？

**亀山** 互例会、春の家族会、納涼会、冬の家族会かな。

**岩崎** 互例会以外は全て家族会だったのですか？

**亀山** 今の新年互例会のように大勢の来賓を呼ばなかったのです。現役以外でお呼びしたのは市長と賛助会員くらいでした。最近は、座っている現役会員が20人くらいですよ。役員紹介時には全員立ってしまう。あれでは一般の会員が出たくなると思います。確かに色々なお付き合いは結構ですが、互例会とは別に現役会員だけで新年会を開くつもりの方がいいかもしれません。私は初めて副委員長になったり、委員長になったりした年に、「次年度の…」と紹介されたのが嬉しくて仕方なかったですよ。それに、常任理事が年末から準備した余興を披露しました。私も白波五人男を練習しました。今は当時のようには騒げないですよ。



**岩崎** 理事長予定者になってから、色んな本を読んで勉強しました。イイことが沢山書いてあって、自分をどう変えようか悩んだ時に自分を見失ってしまいました。理想像が定まらなかったのです。先程の言葉を聞き、今まで通りに自分らしく、というのが間違いないなと感じました。

**亀山** 私は壁に当たったら原点に戻れば良いと思っています。「継続は力なり」ですから、どうすれば達成できるかとシンプルに考えるようにしてみてください。今はあれもこれも手を出しすぎているのではないですか？

**岩崎** そうかもしれませんね。

**亀山** 「継続は力なり」も確かですが、スクラップ&ビルドも必要かなと思います。先輩たちが継続してきた事業で、重荷になってしまうこともあるかもしれません。「なぜ始まったのか」という原点に戻りながら、精査していかなければならないと思います。「みんなで見直そうよ」ということも1年間の事業になります。見直してみると、現役メンバーに「自分たちが始めた」という自負が生まれて、人が集まってくるはずですよ。昔は、若手経営者の集まりが青年会議所くらいしかなかったのです。それだけ色んな人が集まってきましたし、メンバーになるためのチェックも厳しかったです。

**岩崎** 1割から2割は落としていたと聞いています。

**亀山** そうですね。

**岩崎** 以前に比べると継続事業が以前よりも増えているかもしれません。

**亀山** 継続事業が一大行事になっていくこともあるかと思いますが。継続する方法、もちろん青年会議所として継続する方法もありますが、別の組

2014年1月発行

織にお願いする方法もあるかもしれないですね。一つの事業ができあがる時には、メンバーの目的意識がしっかりと注ぎ込まれます。時代が変われば、目的も手段も変わっていくはずですので、みんなで一回議論・検討すれば良いと思います。

岩崎 そういう議論も必要かもしれませんね。



岩崎 昨年、公開例会としてキャンドルナイトを行いました。開催場所を桐生が岡遊園地に移して。

亀山 キャンドルナイトの様子を聞いて、遊園地を夜に開園しようかなって思いました。驚くほど賑わっていたと聞きました。あのような事業は、桐生の呼びものになるのではないかなと。

岩崎 夜の遊園地は道路も園内も大渋滞になる程、集客がありましたからね。桐生に若い人たちがあんなにいるのかって思いました。

亀山 桐生八木節まつりだって、そうなのですよ。「こんなにいるじゃないか」って思うくらいですよ。キャンドルナイト、夜の遊園地、動物園のナイトツアーとか。桐生にあるものを活用してね。今、桐生には大型ショッピングモールのような集客できる施設をつくれる土地が無いものね。後は、みんなで《英知》を結集することだね。《英知》なんて言っているのは青年会議所だけです（笑）

一同 （笑）

亀山 若い人の団体はいくつもある中で、青年会議所は異業種の人材が集まっている。商売とは関係なく思っていることをぶつけ合える団体だと思います。オールラウンドで何でもできる団体は他には無いです。みんなが一生懸命、このまちへの思いをぶつけ合って、そして、みんなの若い力でまちを盛り上げてほしいな。

岩崎 はい。

公益社団法人 桐生青年会議所

岩崎 桐生青年会議所は、メンバー同士の繋がりがとても強い団体だと思います。その《英知》を結集して来年1年間頑張っていきたいと思います。本日は貴重なお時間をいただき、ありがとうございました。

#### 岩崎靖司理事長プロフィール

- 昭和50年（1975年）9月13日生まれ
- 有限会社あざみ住建 常務取締役
- 平成17年、会員委員会 委員
- 平成18年、会員委員会 委員
- 平成19年、社会創造委員会 副委員長
- 平成20年、総務委員会 副委員長
- 平成21年、会員委員会 委員長
- 平成22年、総務委員会 理事
- 平成23年、夢実現室長
- 平成24年、総務室長
- 平成25年、副理事長
- 平成26年、桐生青年会議所第58代理事長就任

趣味 読書

信条 No Pain, No Gain

#### 亀山豊文市長プロフィール

- 昭和25年（1950年）10月18日生まれ
- 群馬県立桐生高等学校、専修大学法学部卒業
- （社）桐生青年会議所理事長などを経て、平成7年群馬県議会議員選挙に桐生市選挙区から出馬し初当選。以後3期務める。
- この間に、群馬県議会総務企画常任委員会副委員長、保健福祉常任委員会委員長、高齢・くらし特別委員会副委員長、文教治安常任委員会委員長、総務常任委員長、議会運営委員会副委員長を歴任。ほかに群馬県監査委員を歴任、現在、群馬県アイスホッケー連盟会長。
- 平成19年、桐生市長選挙に出馬して初当選。
- 平成23年、再選され現在2期目。

趣味 スポーツ全般

信条 誠実

## 総務委員会



委員長 森下 俊



副委員長 小林 鋼平



副委員長 武井 洵

## 会員委員会



委員長 田島 佳幸



副委員長 大澤 道成



副委員長 森 昭寿

## 真のリーダー共育委員会



委員長 上原 進太郎



副委員長 福田 純夫



副委員長 伏木 康雄

## まゆ玉ころがし委員会



委員長 猪俣 真也



副委員長 井川 喜陽



副委員長 星野 充彦

## きりゅう映画祭委員会



委員長 岩浅 涼水



副委員長 糸井 理紗



副委員長 瀬谷 真志

## 会員拡大特別委員会



委員長 柏瀬 優



副委員長 大賀 崇充



副委員長 中静 一浩